

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	四国医療工学専門学校
設置者名	学校法人すみれ学園 理事長 内田 信次

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	医療情報学科	夜・通信	8 単位	6 単位	
	臨床工学学科	夜・通信	9 単位	9 単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

請求があれば、事務室に備付の資料を閲覧可能

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名 特になし
(困難である理由)

様式第 2 号の 2－① 【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第 2 号の 2－②を用いること。

学校名	四国医療工学専門学校
設置者名	学校法人すみれ学園 理事長 内田 信次

1. 理事（役員）名簿の公表方法

請求があれば、事務室に備付の資料を閲覧可能

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	国立大学・公立大学 名誉教授	令和 4 年 7 月 7 日～令 和 8 年 7 月 6 日	「人事」「労務」 「法務」「財務」 の決定、執行
非常勤	元県職員 日本赤十字社 理事	令和 4 年 7 月 7 日～令 和 8 年 7 月 6 日	「人事」「労務」 「法務」「財務」 の決定、執行
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	四国医療工学専門学校
設置者名	学校法人すみれ学園 理事長 内田 信次

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
両学科とも授業計画書(シラバス)については次年度の教科担当者が決まり次第、所定の様式にて作成、提出を依頼している。(1月・2月に実施) 提出されたシラバスは学科で取りまとめ、授業開始時までのガイダンスで公表している。	
授業計画書の公表方法	請求があれば、事務室に備付の資料を閲覧可能
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
両学科とも成績の評価は、定期試験の成績に平素の学習状況、出席状況、レポートの提出状況などを加味した上で総合的に行う。 成績は100点を満点とし、60点以上を合格とする。 成績の評価は、80点以上 A、70点以上 B、60点以上 C、59点以下 Dをもって表し、Dを不合格としている。 また学生の出席時間数が、講義・演習3分の2、実習5分の4以下の場合には、単位を認定しない。	

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 両学科とも客観的な指標として、以下の方法を行っている。 成績評価は100点満点換算にて各授業科目の平均点を算出し、順位を出している。	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	請求があれば、事務室に備付の資料を閲覧可能
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 様々な医療の現場で患者さんのために貢献できる医療従事者になれると認め、下記の条件を達成した者を卒業と認定する。 卒業のための条件 (1) 卒業するために必要な単位（卒業所要単位数）を取得した者 (2) 卒業期日までに必要な学費等を全額納入している者 (3) 卒業判定会議において卒業可と判定された者 卒業のための条件については新入生オリエンテーションにおいて、学生便覧等を通じて学生に十分理解させ、周知徹底している。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	請求があれば、事務室に備付の資料を閲覧可能

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	四国医療工学専門学校
設置者名	学校法人すみれ学園 理事長 内田 信次

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	事務室に申し出のうえ、事務室に保管している貸借対照表を閲覧
収支計算書又は損益計算書	事務室に申し出のうえ、事務室に保管している収支計算書を閲覧
財産目録	事務室に申し出のうえ、事務室に保管している財産目録を閲覧
事業報告書	事務室に申し出のうえ、事務室に保管している事業報告書を閲覧
監事による監査報告（書）	事務室に申し出のうえ、事務室に保管している監事による監査報告を閲覧

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
商業実務分野		医療専門課程	医療情報学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
			60 単位	37 単位	4 単位	-	-
2 年	昼	93 単位	101 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		11 人	0 人	3 人	3 人	6 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 履修方法は、講義、演習、実習の3つとする。 授業計画書（シラバス）については次年度の教科担当者が決まり次第、所定の様式にて作成、提出を依頼している。（1月・2月に実施） 提出されたシラバスは学科で取りまとめ、授業開始時までのガイダンスで公表している。
成績評価の基準・方法
（概要） 成績の評価は、定期試験の成績に平素の学習状況、出席状況、レポートの提出状況などを加味した上で総合的に行う。 成績は100点を満点とし、60点以上を合格とする。 成績の評価は、80点以上 A、70点以上 B、60点以上 C、59点以下 Dをもって表し、Dを不合格としている。 また学生の出席時間数が、講義・演習3分の2、実習5分の4以下の場合には、単位を認定しない。

卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業のための要件 (1) 卒業するために必要な単位（卒業所要単位数）を取得した者 (2) 卒業期日までに必要な学費等を全額納入している者 (3) 卒業判定会議において卒業可と判定された者 定期試験、実習評価、出席日数、学内外の活動などにより、総合的に判定し、卒業判定会議にて認める。 卒業判定会議：校長、学科長、各クラス担任により構成する。 判定：上記成績表及び出席日数ならびに日常生活態度より検討する。
学修支援等
(概要) 補講ならびに個別指導の実施

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
8 人 (100%)	0 人 (0 %)	8 人 (100%)	0 人 (0 %)
(主な就職、業界等) 病院、クリニック、調剤薬局			
(就職指導内容) 履歴書指導ならびに面接指導			
(主な学修成果（資格・検定等）) 医療秘書技能検定試験 3 級の取得率 88%、医師事務作業補助技能認定試験の取得率 75%、医科医療事務管理士技能認定試験の取得率 88%、医事コンピュータ技能検定試験 2 級の取得率 75%・3 級の取得率 100%、調剤事務管理士技能認定試験の取得率 100%。			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
6 年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
16 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
医療分野		医療専門課程	臨床工学学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	114 単位	67 単位	29 単位	20 単位	-	-
			116 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		32 人	0 人	6 人	5 人	11 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 履修方法は、講義、演習、実習の3つとする。 授業計画書（シラバス）については次年度の教科担当者が決まり次第、所定の様式にて作成、提出を依頼している。（1月・2月に実施） 提出されたシラバスは学科で取りまとめ、授業開始時までのガイダンスで公表している。	
成績評価の基準・方法	
（概要） 成績の評価は、定期試験の成績に平素の学習状況、出席状況、レポートの提出状況などを加味した上で総合的に行う。 成績は100点を満点とし、60点以上を合格とする。 成績の評価は、80点以上 A、70点以上 B、60点以上 C、59点以下 Dをもって表し、Dを不合格としている。 また学生の出席時間数が、講義・演習3分の2、実習5分の4以下の場合には、単位を認定しない。	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 卒業のための要件 （1）卒業するために必要な単位（卒業所要単位数）を取得した者 （2）卒業期日までに必要な学費等を全額納入している者 （3）卒業判定会議において卒業可と判定された者 定期試験、実習評価、出席日数、学内外の活動などにより、総合的に判定し、卒業判定会議にて認める。 卒業判定会議：校長、学科長、各クラス担任により構成する。 判定：上記成績表及び出席日数ならびに日常生活態度より検討する。	
学修支援等	
（概要） 補講ならびに個別指導の実施	

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
19 人 (100%)	0 人 (0%)	16 人 (84.2%)	3 人 (15.8%)
（主な就職、業界等） 病院			
（就職指導内容） 履歴書指導ならびに面接指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） 臨床工学技士国家試験取得率：94.7%			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
6 年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
45 人	2 人	4.4%
（中途退学の主な理由） 身体的な理由、進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個人面談の実施、レクリエーションによる学生間交流など		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
医療情報学科	200,000 円	930,000 円	円	
臨床工学学科	200,000 円	1,380,000 円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://sumiregakuen.jp/shikoku-mec/outline/disclosure.html		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) - 自己評価の結果をもとに教育課程、学生指導、学校評価等について意見交換を行う。 - 開催は原則年1回とし、反省及び次年度に向けた学校運営の改善を図る。 - 学校関係者評価の委員は、原則として企業、高等学校、在校生保護者、卒業生からなる5名以上とする。 - 学校関係者評価委員の選任は校長が行う。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社 Yell Pharmacy	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	本校卒業生代表
高知大学医学部附属病院	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	関連業界関係者
医療法人さくらの里 だいいちリハビリテーション病院	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	関連業界関係者
高等学校校長	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	教育関係者
在校生保護者	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	学校の保護者代表
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://sumiregakuen.jp/shikoku-mec/outline/disclosure.html		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://sumiregakuen.jp/shikoku-mec/
--